

# 沖縄意見広告運動事務局よりのお願い

《翁長さんの遺志を継ぐ》候補への応援の声と行動を全国各地で起こし、沖縄知事選の勝利で日米両政府に辺野古新基地建設を断念させましょう！

## 全国の賛同者の皆様にいくつかのお願いです

今、翁長知事の遺志を継いで、沖縄県が「辺野古埋め立て承認」の撤回を敢行し、よって新基地工事は法的根拠を失い、工事は中断されます。安倍政権に新基地建設計画を断念させる絶好のチャンスです。

そのためには、沖縄県の承認撤回支持の声を全国から起こし、開始されている県知事選挙にて、翁長さんの遺志を継ぎ、県の承認撤回の立場に立って新基地建設阻止のために奮闘する候補者、玉城デニーさんの勝利が絶対が必要です。

沖縄意見広告運動は、第10期広告への賛同のお願いとともに、格別の意味を持つ今回の県知事選への取り組みを、全国のみなさまに呼びかけます。

- 第10期沖縄意見広告への沖縄県の「承認撤回支持」のチラシを使い、賛同の輪を広げて下さい。
- 同封した振込表付のチラシは、東京の事務局にご連絡下されば、必要枚数をお送りします。
- 翁長知事の遺志を継ぐ候補者、玉城デニーさんへの応援の声をあげ、一人でも多くの支援者を増やして下さい。
- 応援のための「沖縄特別募金」へのご協力可能な方は、上記チラシの振込票をお使いください。よろしくお祈りします。



第9期沖縄意見広告では掲載する3紙のデザインをそれぞれ変えました。ここに紹介したのは、琉球新報(上)と沖縄タイムス(下)です。(朝日新聞全国版への原寸大広告は同封致しました。)

# 沖縄・意見広告運動ニュース

振替口座/加入者名:意見広告  
口座番号:00920-3-281870

2018.9.5 (WED)

■東京連絡先 〒164-0001 東京都中野区中野2-23-1 ニューグリーンビル301号 協同センター東京 気付  
■関西連絡先 〒533-0032 大阪市東淀川区淡路3-6-31 協同会館アソシエ内

東京:03(6382)6537 FAX:03(6382)6538 大阪:06(6328)5677 FAX:06(6328)5777



## ■翁長さんの遺志を継いで撤回を実施

県知事職を代行する謝花喜一郎副知事は翁長知事の遺志をしっかりと受け継ぎ、9日には防衛局側の「聴聞延期」要求を拒否、予定通り県庁にて「聴聞」を実施しました。

そして、31日に撤回を実行し、同日午後、工事主体である防衛省沖縄防衛局に撤回の通知文書を提出しました。

辺野古新基地建設の理由はそもそも「周辺住民にとって危険な普天間飛行場を移設するため」だったはずですが、辺野古に新基地を造っても、滑走路の長い民間空港を米軍に使用させなければ普天間基地を返さないという事実を防衛相が認めました。これではそもそも基地建設の前提条件が崩れたと言わざるを得ません。また軟弱地盤や活断層の危険、ジュゴンやサンゴなど辺野古の貴重な自然環境保全の配慮がまったくなされていません。

このように、なにがなんでも新基地を建設しようとする国の態度を故翁長知事も「傍若無人だ!」と怒っておりました。

## ■国は沖縄県の決定にしたがい、新基地建設を断念せよ

県の「承認撤回」決定に対して日米両政府は「辺野古が唯一」の従前の見解を繰り返して聞く耳持たずで、安倍政権に至っては「承認撤回されて工事が止まればその効力を止める執行停止を裁判所に申し立て工事再開をはかるだけだ」と公言しています。沖縄県知事選の勝利で、日米両政府に、辺野古新基地建設を断念させましょう!



沖縄県知事選オール沖縄候補 玉城デニーさんの勝利を!

## ■国連が「沖縄への差別」と批判

国連人種差別撤廃委員会は沖縄への米軍基地の集中は「先住民への現代的な人種差別である」として日本政府へその権利を保護するように勧告をおこなっています。またアメリカの退役軍人の会「ベテランズフォーピース」も8月25日の総会で沖縄への支援と連帯を表明しました。

## 土砂投入を許さない！ ジュゴン・サンゴを守り辺野古新基地建設断念を求める8・11沖縄県民大会

8月11日、沖縄県那覇市の奥武山(おうのやま)陸上競技場にて辺野古新基地建設断念を求める県民大会が「辺野古新基地を造らせないオール沖縄会議」の主催で開催された。故翁長雄志沖縄県知事が急逝してわずか3日、集会参加者の胸には悲しみと悔しさ、怒りが激しく渦巻いている。悲しみの雨の中で開かれた集会是、翁長さんを追悼し、さらに翁長さんの遺志を継いで、辺野古新基地建設を何としても食い止める決意を、亡き翁長さんの霊前に誓う「決起集会」となった。集会に先だって、去る6月23日の沖縄戦没者慰霊の日に翁長さんの読み上げた「平和宣言」が会場に流れた。「世界中の人々が民族や宗教、そして価値観の違いを乗り越えて強い意志で平和を求め、協力して取り組んでいかなければなりません」「恒久平和を希求する沖縄のこころを世界に伝え、未来を担う子や孫が心おだやかに笑顔で暮らせる、平和で誇りある豊かな沖縄を築くため全力で取り組んでいく決意をここに宣言いたします」。平和の架け橋をめざす翁長さんの訴えが、改めて県民の心にしみわたった。

### 沖縄をどれだけ傷めつけば気が済むのか

オール沖縄会議共同代表で元県知事公室長の親川盛一さんによる開会宣言のあと、翁長さんを悼んで黙とうが捧げられたあと、翁長さんの次男で那覇市議会議員の翁長雄治(たけはる)さんから父・雄志さんの最後の様子が語られた。雄治さんによれば、翁長さんは「ウチナーンチュが心をついて闘うときにはおまえが想像するよりもはるかに大きな力になる」と何度も何度も語っていた。壇上には翁長さんがかぶる予定であった「辺野古ブルー」の帽子が置かれた。

オール沖縄共同代表で琉球大学法科大学院教授の高良鉄美さんは、普天間基地の5年～7年以内の撤去の約束が新基地建設に変更となったのは「10階建てビルの3階から6階に移るといふ事」に過ぎないと批判した。「沖縄をどれだけ傷めつけば気が済むのか！」城間幹子那覇市長は、こぶしを振り上げて沖縄の決意を語る有りし日の翁長知事の思い出を語った。

壇上には玉城デニーさん始め沖縄選出の衆参全国議員、各会派の県議会議員らが並んでいる。県外からも多くの国会議員らが参列している。山城博治さんの辺野古現地からの報告(別掲)のあと連帯のあいさつに移った。政策集団「新しい風にぬふあぶし」共同代表の金城徹さん、金秀グループ・金秀興産代表取締役社長の山城敦子さん、琉球大学名誉教授で沖縄防衛局が設置した環境監視等委員会元副委員長の東清二さん(メッセージ)、「戦争させない・九条壊すな」総がかり行動実行委員会の福山真劫さん、沖縄県知事職務を代行する副知事の謝花喜一郎さん。

### 沖縄の空は誰のもの 沖縄の海は誰のもの

オール沖縄会議共同代表の玉城愛さんは集会決議案を読み上げるに先だって「この沖縄の空は誰のものですか？ 海は誰のものですか？」と問いかけた。沖縄の海も空も沖縄のもの。会場の全員でメッセージボードを掲げたあと、オール沖縄共同代表・高里鈴与さんの音頭で「ガンバロー」三唱が行なわれ、同じくオール沖縄共同代表の稲嶺進さんにより閉会が宣言された。

悲しみを怒りに！ 怒りを決意に！ 決意を行動に！ 辺野古新基地建設阻止の不退転のたたかいが今、新たな段階を迎えた。



# 辺野古新基地建設断念を求める 8・11沖縄県民大会

■ 沖縄平和運動センター議長  
山城博治さん

## 断固として翁長さんの思いに答えよう (要旨)

続く続く茨の道を、なぜか私たちにこのような試練のしかかるのか理解ができませんが、であれば今こそ腹を固めて、団結を強めて、顔をあげて「歴史を拓くのは私たちが」と、その気概でがんばり抜こうではありませんか。(中略)  
あらためて翁長知事の決意を我がものとし、忘れずにこれからまた力強く立ち向かっていこうではありませんか。これまでご支援をいただきました県民のみなさん。全国の仲間みなさん。引き続きの力を貸してください。

幸いに現場は96年からひき続くように海に船を出し、カヌーを出し続けて、あのすさまじい海保の暴力に耐えて抗議の声をあげつづけております。14年から続いたゲート前の座り込みも、1日も欠かず事無く多くのおみなさんが参加しております。昨今では、本部町の塩川港への船の搬出への抗議にも多くの県民が出向いております。みなさん。状況は簡単ではありませんが、わたしたちの力をもってすれば、不可能は無い。(中略) 腹をすえてがんばってまいりましょう！

## 土砂投入を許さない！ ジュゴン・サンゴを守り、 辺野古新基地建設断念を求める8・11県民大会決議 (全文)

国は、8月17日からの辺野古地先への埋め立て土砂投入を沖縄県へ通知した。現在行われている環境アセスを無視した数々の違法工事は、仲井真前知事が退任の4日前に承認した追加申請によるものである。沖縄県は、沖縄防衛局に対し、再三にわたり工事実施前の事前協議を行うことを求めてきたが、沖縄防衛局はこれを無視し十分な説明を行うことなく、沖縄県民の民意を踏みにじり、環境破壊につながる違法工事を強行し続けている。

は豊かな生物多様性を誇る辺野古・大浦湾の美ら海に新たな基地を造らせない。沖縄県民の命とくらし、沖縄の地方自治と日本の民主主義と平和を守るためこの不条理に対し全力で抗い続ける。

今県民大会において、以下、決議し、日米両政府に対し、強く抗議し要求する。

### 記

- 1、ジュゴンやウミガメなどの生きていくための豊かな海草藻場や希少なサンゴ類の生息環境を破壊する土砂投入計画を直ちに撤回すること。
- 2、大浦湾側には活断層の疑いがあり、その付近の海底には、超軟弱地盤が存在する。辺野古新基地の立地条件は成り立っていない。建設計

- 画を直ちに白紙撤回すること。
- 3、沖縄高専、久辺小・中学校、集落は、米国の安全基準である高さ制限に抵触している。児童生徒と住民の生命と財産を脅かす新基地建設を直ちに断念すること。
  - 4、欠陥機オスプレイ配備を撤回し、米軍普天間基地を即時閉鎖・撤去すること。
  - 5、欠陥機オスプレイの国内における飛行を直ちに全面禁止すること。

宛先 内閣総理大臣  
外務大臣  
防衛大臣  
沖縄及び北方対策担当大臣  
米国大統領  
駐日米国大使  
2018年8月11日  
辺野古新基地を造らせない  
オール沖縄会議

## 翁長沖縄県知事の遺志を継ぐ、 8・11沖縄県民大会の訴えに 連帯する8・30東京緊急集会

8月30日、東京永田町の星陵会館にて「翁長沖縄県知事の遺志を継ぐ、8・11沖縄県民大会の訴えに連帯する8・30東京緊急集会」が開催された。沖縄・一坪反戦地主会関東ブロックの木村辰彦さんの司会で、最初に同じく一坪反戦地主会の青木初子さん、戦争させない1000人委員会の内田雅敏さんが発言。

### 本土の闘いと沖縄の闘いが 合流し、日本を変えよう！

安次富浩さん ■ 沖縄・ヘリ基地反対協議会共同代表

沖縄運動平和センター議長の山城博治さんの報告のあと、沖縄・ヘリ基地反対協議会共同代表の安次富浩さんが発言した。

「4年前、翁長さんが辺野古新基地建設反対を掲げて立候補し10万票差で圧勝した理由は、仲井真前知事が東京で菅官房長官と密談し、高額の「振興予算」受け取りとひき換えに「辺野古移設反対」の公約を投げ捨て、基地建設を承認してしまったからだ。ウチナーンチュのこころを金で売ろうとする政治家をつくり出す本土のやり方に腹のそこから怒りがわき上がった」。安次富さんは党本部の桐嶋に屈して公約を破棄した沖縄選出民主党衆参5議員の屈辱の会見にも言及し「あんなのは政治家じゃ無い！」と怒りをあらわにした。

「本土政府の差別政策に対して『日米安保と沖縄軍事基地反対』の我々と、『沖縄は基地に頼らず観光産業で潤うべきだ』とする保守の財界人とが手を結び、オール沖縄が成立した。それを牽引したのが翁長知事だった。イデオロギーよりアイデンティティ。翁長さんの辺野古埋め立て承認撤回の遺志を継いで副知事が明日、承認撤回の通知をする。『防衛省』を『防災省』に変え、戦車を土木機械に、銃をスコップや救助用具に変えよう。脱原発・反原発の闘いや被災者へのボランティア活動と沖縄の闘いが合流し、日本を米従属から真の独立した社会へと造り上げよう。」

### 沖縄意見広告運動からも 連帯のアピール！

沖縄意見広告運動全国世話人の花輪伸一さんが、沖縄県知事選を睨んで、今年は例年より早く全国に呼びかけのチラシを発送すると報告。「オール沖縄」の玉城デニー候補の勝利のため全国から行動を起こそう！と訴えた。

